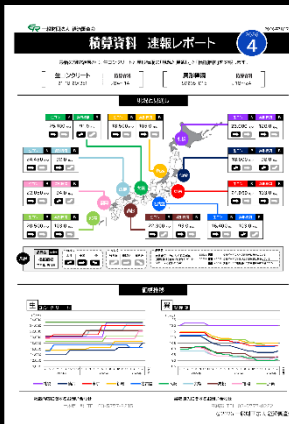


【おそれ情報資料】 資材価格速報と最新の労務需給の調査結果を公表します

一般財団法人経済調査会は、改正建設業法で工事受注者による「おそれ情報」の契約前の通知が義務化されたことを踏まえ、関係資料を提供している「おそれ情報特設サイト」において、資材価格動向の速報と最新の労務需給の調査結果を、以下の通り公表いたしました。このたびの資料により、生コンクリートと異形棒鋼の価格動向や、各種工事の労務需給などの最新情報をご確認いただけます。

今回の公表内容

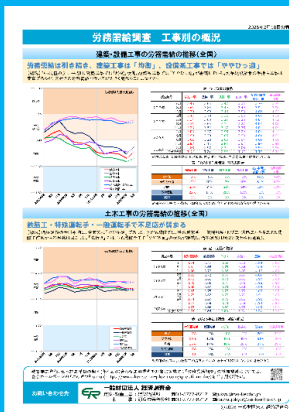
I. 積算資料速報レポート：仙台地区で生コンクリート上昇。異形棒鋼は4地区で市況上伸。



【公開日：3月17日】積算資料4月号（3月20日発売）の調査結果に基づき、生コンクリートと異形棒鋼の最新の「現況と見通し」および「価格推移」を速報するレポートを「おそれ情報特設サイト」にて3月17日に公開いたしました。

【概況】4月号(3月調査)における主要10都市の生コンクリート市況は、原材料の騰勢などを背景に、仙台地区で1,500円の上昇。先行きも高松地区が強含みとなるなど、全国的に強基調が続いている。異形棒鋼は仙台、名古屋、大阪、福岡で市況上伸。流通側の価格重視姿勢が一部の地区で浸透し始め、先行きも上記4地区に加え広島地区でも強含みに転じるなど、下落基調だった市況は反転する兆しを見せている。

II. 労務需給調査：設備工事でひっ迫傾向続く。土木工事は鉄筋工などで不足感がやや緩和。



【公開日：3月18日】2026年2月の調査結果に基づき「建築・設備工事」と「土木工事」の最新の労務需給状況を3月18日に公開いたしました。「おそれ情報特設サイト」では調査結果の概要をとりまとめたサマリー版も公開しております。

【概況】建築・設備工事の労務需給は、「均衡」状態が続く建築工事とは対照的に設備系工事で「ややひっ迫」の状態が高い水準で継続している。先行きもひっ迫感は強まる見通しで需給バランスが大きく崩れることはなさそう。一方、土木工事は全般的に「やや不足」で推移するも、鉄筋工や特殊運転手など複数職種で不足感がやや弱まった。先行きの過不足度は、各職種とも現況と大きく変わらず推移する見通し。

おそれ情報特設サイトを随時更新しています

今回の資料公表は、主要な「資機材」や特定工種の「労務」に関する価格高騰や供給不足・遅延といった「おそれ情報」に関する情報提供の取組みの一環として実施いたしました。当会の「おそれ情報特設サイト」では、今回公表した上記資料のほか、「積算資料 建設資材価格指数」や「災害復旧資材情報」などの資料もダウンロードすることができます。ぜひ、ご確認いただき、最新の情報をお役立てください。

【おそれ情報特設サイト URL】

<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/riskinfomaiton/>



おそれ情報特設サイトに関するお問い合わせ先